

光星サヨナラ勝ち 県大会

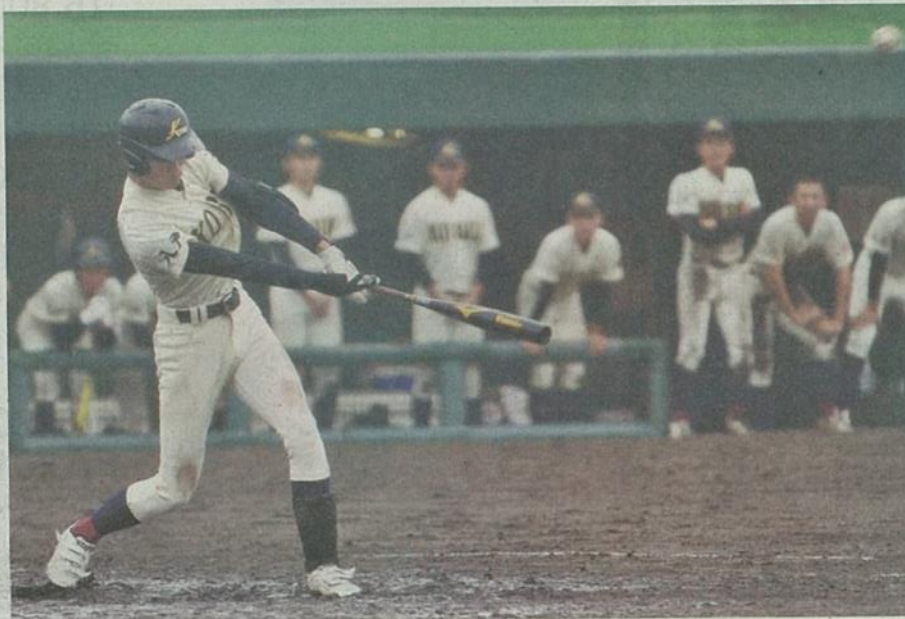
予選は5日、八戸など5地

地区予選
秋季青森県高校野球

区で計6試合を行った。八戸地区は工大一、八学光星、むつ地区は大湊、青森地区は青森山田、弘前地区は東義、五所川原地区は木造が

県大会（8、12日・弘前市ほか）の切符を手にした。青森、弘前両地区では代表決定戦各1試合が雨のため6日に順延された。同日は

県大会の組み合わせが決まる。
（向屋敷萌）



【八戸地区代表決定戦・工大一―八学光星】9回八学光星2死満塁、佐藤航太が右中間にサヨナラ打を放つ

ひやり、苦手左腕に苦しむ

○：雨の中で行われた八戸地区代表決定戦では、八学光星が工大一に辛勝し、県大会切符を死守した。九回にサヨナラ打を放った佐藤航太は「追い詰められていた。勝って良かった」と安堵した。

センバツを目指す上で落とせない試合だったが、初回に守りのミスも絡んで先制を許すと、打線は三回以降、苦手の相手左腕の前に三塁を踏めなかった。八回終了時点で1点ビハインドと、苦戦を強いられた。

それでも、何とか勝ち切った光星。8日に幕を開ける県大会へ、佐藤は「時間は少ないが、苦手の左投手対策などを頑張りたい。優勝して東北大会に行く」と意気込んだ。